

人が自然とつながるための知恵の研究 人と自然、人と人をつなげる活動



自然・環境マネジメント研究部 環境計画研究グループ

奥井 かおり

私は、「伝統知」の研究をしています。正確には「伝統的な生物学的知識 (Traditional Ecological Knowledge)」と呼ばれ、人がどのように自然を利用してきたか、その知恵がどのように世代を越えて受け継がれてきたかを調べています。2015年に淡路島でおこなった、野山に自生している“木の実の利用”に関する調査では、約50種類の木の実を淡路島の人たちが利用してきたことがわかりました。自然利用の知恵は過去から現在にかけて消失傾向にあり、知恵の継承の仕方も変化してきていることがわかりました。



世代を越えて、一緒に本気の川遊び



魚の地元の呼び方を紹介するポストカードを制作

自然を利用する知恵を、次の世代につなげる活動にも取り組んでいます。2019年に兵庫県西脇市黒田庄で、地元の高齢世代の方と子どもたちが、一緒に川遊びをするイベントをお手伝いしました。魚の地域名、魚の捕まえ方、川遊びの注意点など、体験を通して地元の知恵を共有しました。